

IRに積極的な企業は、投資家の意見を社内で共有化

情報開示に関するリスクや、情報開示プロセスについての開示も進む

— IR優良企業賞 2011 応募企業の調査結果より —

一般社団法人 日本IR協議会(会長:澤部肇 TDK 株式会社 取締役取締役会議長)は現在、IR優良企業賞 2011 の審査を進めています。今年は、日本IR協議会の会員企業のうち 304 社がIR優良企業賞 2011 に応募しました。

本リリースは、応募企業 304 社のアンケート調査の集計結果を、参考までにご報告するものです。IR優良企業賞は、IRの趣旨を深く理解し、積極的に取り組んでいる企業を表彰するもので、3 段階の審査を経て決定します。最終審査の結果は、11 月上旬に発表する予定です。

【調査結果の概要】

(1) IRサイトの向上 —PCやスマートフォンでIR資料を読みやすくする工夫、約半数の企業が実施

応募企業 304 社のうち、ネット上にIR関連の情報開示を実施している企業は 96.7%(294 社)。実施企業 294 社に対して今年新たに、e-book 化など、PCやスマートフォンでIR資料を読みやすくするための工夫をしているか尋ねたところ、48.6%(143 社)が実施していると回答した。また、月次売り上げなどのデータ資料について、エクセルファイルで公開している企業も、実施企業のうち 41.8%(123 社)を占めた。

(2) 情報開示が更に強化 —IRサイト上で、情報開示のリスクやプロセスの開示が進む

情報開示に関するリスクを認識し、IRサイト等、任意の方法で開示している企業は、応募企業の 88.2%(268 社)を占めた。「情報開示までのプロセスをサポートする体制を整え、IRサイト等任意の方法で開示している」と回答した企業は 61.8%(186 社)で、2010 年度の調査結果(応募企業 322 社 52.2%、168 社)より 9.0 ポイント上昇した。

(3) アナリスト・投資家向けミーティングに変化 —投資家向けミーティングに経営トップが参加する企業が減少

IR活動における出席者を尋ねたところ、国内での経営方針・経営戦略説明会に「会長、社長(CEO)」が出席した企業は 58.6%(178 社、昨年度 60.6% 195 社)。国内での個人投資家向け説明会では 29.6%(90 社、昨年度 31.7% 102 社)、国内でのアナリスト・投資家との面談では 68.4%(208 社、昨年度 71.4% 230 社)と、経営トップが参加する企業が減少している。

(4) 社内へのフィードバックが定着 —投資家の意見を従業員に報告し、共有する企業が増加

アナリストやファンドマネージャーの意見を社内にフィードバック(報告・共有)している企業は、89.5%(272 社)であった。フィードバック先としては、「会長、社長(CEO)」が 96.7%(263 社)とほぼ昨年同水準であった。一方で、「部門長」64.3%(175 社)、「従業員」23.9%(65 社)へフィードバックすると回答した企業が、各々昨年度比 5.0 ポイント前後上昇した。

本件に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本 IR 協議会

電話:03-5259-2676 FAX:03-5259-2677

担当: 首席研究員 三宅茂、首席研究員 佐藤淑子、首席研究員 篠原哲郎、研究員 葛窪飛鳥

* 日本 IR 協議会とは・・・1993 年設立の IR 普及を目的とする非営利団体。2011 年 10 月 1 日現在の会員数は 633 で、研修活動、情報発信活動などを行っている。2010 年 4 月 1 日より一般社団法人へ移行。

URL:<https://www.jira.or.jp/>